



母の日にフラワーショップで 乳がん検診の啓発キャンペーンを実施 ～ 母への感謝とともに「乳がん検診メッセージ」を届ける～

と き 5月10日(午前10時～午後3時30分)

ところ 区内フラワーショップ7店舗、としまえん(向山3丁目)、西武池袋線練馬駅(練馬1丁目)

10日、練馬区で“母の日”に合わせた乳がん検診の啓発キャンペーンが行われた。区内のフラワーショップ(7店舗)で、母の日に贈る花束とともに「受けよう!乳がん検診 家族の笑顔のために」のメッセージ入りティッシュが配布された。これは、練馬区協働事業提案制度を活用して、乳がん体験者のグループ「あけぼの - NERiMA - 」と区が協働実施したものである。

乳がんり患率が高い30歳代後半の女性は、子育てや仕事で忙しく、検診になかなか足が向かないことが多い。

そこで、「あけぼの - NERiMA - 」は、母の日に母親に感謝を込めた花と共に、乳がん検診を受けるメッセージを届けることを企画。母の日は、フラワーショップにとって繁忙日であるが、趣旨に賛同した区内7店舗の協力を得て実施に至った。

当日は、フラワーショップのほか、(株)豊島園と西武鉄道(株)の協力のもと、としまえんと西武池袋線練馬駅前で、「あけぼの - NERiMA - 」会員と区職員が、メッセージ入りティッシュを配布した。今後は、小中学校のPTAの母親等を対象に「乳がんの話」出張講座を区内20か所で開催予定。



フラワーショップでのキャンペーンの様子

【練馬区の乳がんの状況】

練馬区の乳がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、13.3%(平成25年度)と、国(10.7%)や都(11.8%)と比較して非常に高い割合である。しかし、練馬区の乳がん検診の受診率は平成25年度において19.3%と低迷しており、5人に4人が検診を受けていない状況である。

乳がんは、早期発見・早期治療で9割以上の方が治ると言われている。日頃から月1回の自己触診を行い自分の身体に関心を持ち、乳がん検診を受けることが大切である。



啓発メッセージ入りティッシュ

【あけぼの - NERiMA - とは】

乳がん患者会「あけぼの会」(全国組織：昭和23年発足)のうち、練馬区の在住メンバーが中心となったグループ。乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動を行っている。区の講演会にも平成19年から協力をしていることをきっかけに、練馬区の乳がん検診を促すため、平成24年に発足した。

【練馬区協働事業提案制度とは】

町会・自治会やNPO・ボランティア団体などが、地域の様々な課題に対し、解決に向けた企画を区に提案し、審査委員会(公募区民や学識経験者などにより構成)が審査。採択された事業については、提案団体と練馬区が、それぞれの持つ資源(知識、経験、人材、情報、資金など)を持ち寄り、力を合わせて課題の解決に取り組む制度。

【問い合わせ】

「乳がん検診啓発キャンペーン」について：北保健相談所 地域保健係 電話 03-3931-1347

「協働事業提案制度」について： 地域振興課地域 コミュニティ支援係 電話 03-5984-1039